

木津川市

第13号

議会だより



本会議	2・3	常任委員会	6・7
請願審査	4	特別委員会	8
補正予算特別委員会	5	一般質問	8～19
組合議会報告	5	わたしの意見	20

たんざくに願いを
(七夕まつり)

商品券に助成

22年度一般会計 補正予算

収入支出に287万円を追加し、総額230億6387万円とした。

主な補正内容は、地元商店の活性化に効果があるプレミアム商品券への補助。

発行額5500万円の内、500万円を府・市・商工会が負担する。

また、主な収入は国からの女性特有のがん検診への補助金、新型インフルエンザワクチン接種の助成費などである。

主な支出は総合がん検診の費用、市商工業振興補助金である。加茂給食センター運営費は減額した。

(詳しくは5ページ参照)

全員賛成で可決

システム食缶 洗浄機の購入

昭和63年から使用している木津学校給食センターのシステム食缶洗浄機が老朽化したため、新しくする。

契約相手

(株)アイホー京都営業所

契約金額

3916万5千円

Q 入札業者が少なくこれまでと同じ業者が落札したが、公平に入札できているのか。

A 大型厨房機器を扱う業者が限られ、入札業者が少ないが問題はない。

全員賛成で可決

6月定例会は、6月4日から23日までの20日間の会期で開催した。同意11件・承認10件・諮問6件・議案6件・請願2件・発議1件を審議し、請願1件を除き原案どおり可決・承認した。



導入予定の食缶洗浄機

自治功労者 決まる

駒 重則(相楽台)
高橋 良昌(木津町)
嶋村 宗治(木津)
岡島 政彦(加茂町)
吉田 知(山城町)

全員賛成で同意

永年議員 表彰を受ける

全国市議会議長会から長年にわたり、議会活動に尽力された次の議員に、表彰状が授与された。

正副議長表彰

木村 浩三

議員永年表彰

森岡 譲

曾我千代子

倉 克伊

木村 浩三

地域経済対策として

今年もプレミアム

税条例・国保税条例・21年度一般会計補正
予算など専決処分10件を承認した。

年少者控除の廃止など税条例の一部改正

主な改正内容

◆個人住民税関係

① 16歳未満の扶養控除
(33万円)の廃止

② 16歳以上19歳未満の上
乗せ控除部分(12万円)
の廃止(①②とも24年1
月から実施)

◆市たばこ税の引き上げ
1本1・32円(今年10
月から)

Q 扶養控除の廃止で保 育料などへの影響は。

A 国の検討に合わせて、

国の検討に合わせて、

どういふ影響が出るか市
も考える。

反対討論

子ども手当などの財源
として、若年者の扶養控
除が廃止される。さらに
諸制度への影響があるの
に手だてがされていない。
庶民増税の手法に反対。
酒井弘一

賛成多数で承認

(賛成20人・反対5人)

課税限度額の引き上げなど 国保税条例の一部改正

改正内容

課税限度額の引き上げ

医療分47万円↓50万円

後期高齢者支援分12万円

↓13万円

リストラなどの失業者
への国保税の減額措置。

額の引き上げだ。大幅値
上げで市民生活が圧迫さ
れる。市民の負担は限界、
国の負担増が必要。失業
者への措置は当然だ。

宮嶋良造

賛成多数で承認

(賛成19人・反対6人)

一般会計に繰り入れた基金も大半を戻す

21年度一般会計は、事
業費の確定で7億597
0万円を減額した。15億
円以上切りくずした基金
を12億円ほど基金に戻し
た。

また、国保会計では、
3月議会でも1億8000
万円の赤字が見込まれ、
一般会計から繰り入れた
9850万円を全額一般
会計に戻した。予想に反
して医療費の支払いが少
なく済み、実質赤字は、

約6000万円で収まっ
た。

全員賛成で承認

ワード

「専決処分」とは

市長が議会に代わって処理し、次
の議会で報告・承認を得るもの。

男性職員 育児休業拡大

育児休業等の条例改正
がされ、産後休暇中に男
性職員も「産後パパ休暇」
として、育児休業が拡大
された。

全員賛成で可決



今年もプレミアム商品券を販売(昨年の販売風景)

請願 2 件を審査

公共下水道を求める請願

12月議会から継続となっていた「瓶原地域に公共下水道を」の請願の審査をした

討論

賛成討論

議会は住民の側に立つ。地域住民の願いは、たとえ実現に困難があるとしても、正当なものであるかぎり、正面から受け止め採択すべきだ。

酒井弘一

構想案は①トータル費用での経費比較②住民の意向の把握③橋の添架④水質等内容不十分だ。合併協定を考慮し基本計画にいれるべきである。

炭本範子

反対討論

半年間悩んだ。構想案の見直し手法、基準、市民対話の姿勢を確認。将来の財政に責任を持つ議員の立場として断腸の思い。排水路整備は急務。

呉羽真弓

Q 排水路整備は、必要。生活環境部も、共に議論したのか。
A 上下水道部のみ審査。

請願者
瓶原地域長 炭本 武
瓶原まちづくり協議会
会長 吉村 泰彦

紹介議員

炭本 範子 梶田 和良
深山 國男 山本 喜章

瓶原地域を公共下水道区域に編入することを求めた請願は、6カ月の審査を経て委員会では不採択となった。

また、現地視察の結果から、委員会として排水路の早期整備を求める意見をとりまとめた。



瓶原地域の住民説明会 (6月2・3日)

不祥事根絶を求める請願

不祥事根絶を求める請願を審査した

請願者

大西 和己
片山 泰造

紹介議員

呉羽 真弓

現状を看過することはできない。PFI方式による市町村設置型の合併浄化槽設置で、1日も早い汚水処理をする事こそが瓶原地域のためになる。

曾我千代子

賛成多数で採択
(賛成15人・反対10人)

③議会として措置を。

②事件の全容を明らかに。

①政治倫理条例の制定を。

22年2月4日、議員が建設業法違反の疑いで逮捕された事に関して、議会として、不祥事根絶、反省を求めるもの。

6月9日、議会運営委員会

会で審査。一括採決し、委員会では不採択

(賛成1人・反対5人)

宮嶋良造

①議員の政治倫理条例の早急な制定を。②今回の事件の全容を明らかに。③議会として適切な措置を講じる。

賛成討論

法を守る立場の議員が不法行為をしたことは遺憾。請願者の勇氣に敬服。信頼回復に向けて、議会としての意思を形にするべきであり、賛成。呉羽真弓

賛成少数で不採択

(賛成6人、反対18人、除斥1人)

大西 宏

国に意見書を提出

子宮頸がんワクチンの公費助成を求める

厚生委員会が提案。子宮頸がんは、20歳代の女性では乳がんを抜いて発症率が一番高い。ワクチンで予防できる

唯一のがんで、日本でもワクチン接種が始まった。

すでに、一部自治体で独自の助成を開始。一日も早い国による公費助成を求める。

全員賛成で可決

総合がん検診事業を増額補正

補正予算特別委員会

6月15日に委員会を開会。287万2千円を増額し、22年度予算を230億6387万円とする内容で、全員賛成で可決した。

主 な 質 疑

Q 用地事業費の訴訟終結謝金52万5千円の対象地と金額の根拠は。

A よるもの
Q 総合がん検診事業費の1070万3千円のうち、額補正にあたり、本事業の受診率向上の具体的な計画は。

A 現在総合がん検診は延べ21日間実施し土曜日にも受診日を設けている。山城病院やその他の医療機関とも連携し、受診率向上の取り組みをすすめ



乳がん検診機器マンモグラフィ

たい。

Q 加茂学校給食センター運営事業費の減額補正額と学校給食調理業務、配送業務の5年間の経費総額は、12月補正に設定された債務負担行為額を超えることはないか。

A 今回の学校給食調理業務、配送業務の減額補正は本年度、1年分の各業務の契約額確定にともなう差分分について減額を行うもの。5年間の経費総額は債務負担行為額3億5千万円を超えることはない。

Q 育英資金交付事業の増額補正に、過去3年間、本事業で補正はあったのか。また、申請にあたり40人の申請枠があるのか。

A 本事業の昨年度までの補正については昨年度、当初40人のところ年度途中14人分の増額補正を行った。また、40人の枠については予算上の数であり募集時の枠ではない。

全員賛成で可決

補正予算の主な事業

◆総合がん検診事業	1070万円
◆木津川市商工業振興補助金	205万円
◆育英資金交付事業	141万円
◆加茂学校給食センター運営事業	△1248万円

(千円以下の金額は切り捨て・△は減額)

委員長
副委員長

高味孝之 炭本範子 酒井弘一 呉羽真弓 七条孝之 西岡政治 吉元善宏 島野均 山本喜章 森岡謙 尾崎輝雄 中谷裕亮 木村浩三

組合議会報告

老健施設の建設費を

市町村で負担

(国民健康保険山城病院組合)

5月24日開会。

22年度山城病院介護老人保健施設事業会計補正予算を審議した。

老健事業への建設改良に伴う、起債償還に係る負担金を受け入れるためのもので市の負担割合は、86%で、3883万円となる。

老健施設の入居者数は、1日平均92人。理事者側から今後とも利用率の向上、経費削減等、経営安定化に向け努めていきたい、との説明があった。議案は全員賛成で可決した。

職員関係 3条例可決

総務委員会

6月8日委員会を開会し、議案3件を審査し全議案を可決した。

全議案可決

■月に60時間を超える超勤を組合活動に振り替えることを可能にする

Q 月の残業時間が60時間を超えている職員数と、健康管理は。

A 延べ人数は83人。労働者の健康管理を確保する観点からの条例改正である。

全員賛成で可決

■夫婦同時の育児休業を保障するなど育児取得を拡大する

Q 職員のみでなく、一般事業所へも拡大すべきでは。

A 小さな事業所では、困難な部分がある。

全員賛成で可決



育児休業取得の促進を

■職員の介護に関わる休暇で日割、時間割でも取得可能とする

Q 夫婦で交互に取得することが可能か。
A 可能である。

全員賛成で可決

来年度から レセプトが 電子化される

厚生委員会

6月9日に委員会を開会し、議案1件を審査し可決した。

全議案可決

■レセプトの電子化

国の方針でレセプトの電子化が進められ、来年度から全面的に実施される。府国保連合会に431万円を負担するなどの国保会計補正予算を審査した。

Q 電子化のメリットは。

A レセプトの保管場所がいらぬ、点検がスムーズにできるなどがある。

全員賛成で可決

ワード

「レセプト」とは

患者が受けた診療について、医療機関が保険者(市町村や健康保険組合等)に請求する医療費の明細書。

■子宮頸がんワクチン接種の公費負担を求める

子宮頸がんワクチン接種の公費負担を求める意見書を提出することを決めた。意見書の内容は、4ページに記載。



レセプト点検のようす

瓶原地域 公共下水道 の請願は不採択

産業建設委員会

委員を審査し不採択とした。
5月25日・6月10日
請願1件を審査し不採択とした。

請願不採択

■公共下水道を求める請願

汚水処理施設整備基本構想(案)が出され、瓶原地域を個別処理から公共下水道にするよう求める請願が、昨年12月議会に出された。

委員会は、現地視察を含めて6回開催し、慎重に審査をした。初めの審査では紹介議員の出席を求め、質疑を行なった。
Q 市の将来的な財政負担に対する考え方は。
A 住民の思いを通したい。

■反対討論

市の財政状況等を考えると、現在の120億円超の下水道会計の借金に、27億円と言われる工事費が追加されることから、請願は採択できない。

**賛成少数で不採択
(賛成2人・反対3人)**

請願を不採択としたうえで、委員会の意見を取りまとめた。

委員会のまとめ

現地視察で確認したように、家庭用雑排水等が低地の下流地域に溜まるなど、瓶原地域の排水路未整備の状況は劣悪であり、早急に改善する必要がある。

従って、瓶原地域の生活環境を守るため、排水路の早期整備や、市町村設置型合併浄化槽の設置に向けた検討が必要。



委員会現地視察

大型厨房機器の 購入は 今回が最後

文教委員会

委員会を開会し、議案1件を審査し可決した。
6月11日に

全議案可決

**■約3900万円の食缶洗
浄機を購入**

Q 入札参加者が少ないのはなぜか。

A 34社が機器を扱っているが給食用は8社だ。5千食規模の機器を扱う業者は少ない。

Q 木津学校給食センターの厨房機器の新設交換は3年連続だ。今後も続くのか。

A 老朽化で機器の交換が行われているが今回で終了する。

Q 予定価格はどのよう

に決定されたか。

A 業者の参考見積もりを一定割合を掛けて決定した。

Q 昨年機器を購入した



木津学校給食センター

際と同じ答弁だが、前回よりも幅広く業者の参考見積もりを取ったのか。
A 多くの業者から参考見積もりを取ろうと努力したが、扱う業者が少なく前回同様3社となった。

Q 郵便入札は情報が簡抜けでは。

A 郵便入札の方が公正であり、競争性も高まる。

全員賛成で可決

「議会基本条例」12月に制定へ

議会基本条例策定特別委員会

委員会活動の状況

市議会は、議会の活性化と改革に向けて、その基本原則を示した議会基本条例制定に取り組んでいる。

この条例は、議会がより市民に開かれ、市民の

期待に応えられる議会づくりを目指している。

委員会は、4月から月2回の頻度で、「策定までの手順」「工程」「条例の構成項目と内容」「条例への市民意見の反映方法」などを審議し、本年12月に条例制定の予定である。

議会に関するアンケートご協力ありがとうございました

「現状の議会に対する評価」と「議会改革への要望や意見」を求めるアンケートを7月広報に折り込み、実施した。結果を条例に生かす。

市民の皆さんの“ご意見”をお伺いします

議会基本条例に関する住民説明会開催

木津川市議会では、議会の役割や責任を明確にし、市民に開かれた議会のあるべき姿を定める「木津川市議会基本条例」の制定を推進しています。

この条例に関するご意見を、皆さんから直接お聞きする住民説明会を、次のとおり開催しますので、お気軽にご参加ください。

と き	と ころ
8月27日(金) 午後7時30分～9時	いずみホール 研修室(1階)
8月28日(土) 午後7時30分～9時	加茂文化センター 研修室(2階)
8月29日(日) 午後1時30分～3時	アスパアやましろ 視聴覚研修室(1階)



活発なクラブ活動

5452人の署名の声は

真摯に受けとめたい

Q 新中学校開校に伴い、一部のクラブが廃部の心配がある。保護者としては、クラブ存続への協力は惜しまない思いがある。決定する前に協議の場を設ける考えは。

また、修学旅行や一緒に学んだ友達と同じ学び舎で卒業する選択はでき

ないのか。

新しい中学が開校することは喜ばしいが、既存の生徒たちが犠牲になることがあってはならないと考えるが。

A 教育部理事 クラブは3年間継続していくことが大事であり、中学校と連携をとりながら

実現できるように対応したい。

校区は、希望調査を実施し特例も考えていく。署名活動をされていることは認識している。保護者の意見、生徒の思いを大切に進めたい。



イレブンの会

高味 孝之

Q 今年4月にバス事業者と交通協議会で交わされた協定書の去年と大きな違いは。一般管理費0円などで970万円の減額であるが、その要因は。2500円ブリペイドカードの販売延長の考えは。

A 市長公室理事 バス会社の経営改善や調整の結果の削減。カードの継続は、交通協議会で意見があれば検討する。



今年開園したなごみ保育園（梅美台）

住宅改修に助成制度の創設を

今の時点では考えていない

Q 与謝野町や京田辺市では不況対策として、住宅改修に最高20万円を限度に助成している。旧

木津町でもこの制度は好評であった。当市でも住宅助成制度の創設を。

A 生活環境部長 今の時点では見合わせる。なお、住宅改修に関しては

国の助成事業の住宅エコポイントの制度をPRする。

市長 一度研究する。また、与謝野町長に話を聞く。

旧町の文化遺産を後世に

旧町の文化遺産を後世に

Q 恭仁宮の出土品などを紹介する「市文化



日本共産党 森岡 譲

財整理保管センター分室」がオープンした。

今後は旧3町の郷土資料や文化遺産を収集し、その保存と展示できる資料館をつくれ。

A 教育部長 基本的には地域の郷土資料や

文化遺産は先人から受け継がれ、大切に守られてきた資源である。保管が適正であれば今後も地域で守り継ぐべきものと考えている。

また、府立山城郷土資料館で収集、保存、展示する体制がある。

なお、資料や文化遺産が散逸する場合は、一時的に市は保管するが、資料館の建設は現時点では考えていない。

バスの議会決議を執行せよ

尊重し、連携協議会の意見を聞く

Q ①議会決議を実現せよ。②値上げ後の変化は。③収入が増え、割引や軽減の内容を実行できる。

A 市長・市長公室長 ①決議を尊重し、連携協議会の意見を聞く。②4月5月の乗客数は17%減、収入は55%増だ。③高齢者や障害者の軽減

策は考えていない。

待機児童をなくせ

Q ①待機児童の現状と

後は。②すぐに保育園建設を。③保育士の正職を増やせ。

A 市長・保健福祉部長 ①定員を180人増やしたが、待機は53人。



日本共産党 宮嶋 良造

今後の待機者増はわからない。②計画に基づいて行う。すぐの建設はできない。③園の民間移行を考える。

買い物ができるまちに

Q ①桜が丘のスーパーが閉店する。市内で日常の買い物に困っている

Q ①市役所1階のテレビは。②全職員で市役所案内を。③市役所案内の改善を。

A 総務部長 ①接続工事後、意向調査し視聴できるようにする。②市民年金課が担当する。③ホームページを改善。

る人は。②出退店のルールを。

A 市長・生活環境部長 ①買い物弱者はおられる。②なかなか難しい。

愛される市役所に



住宅改修に助成制度を

農業を大事にすべき

サポート体制を作りたい

Q 環境問題からも、農業は保護すべきである。資金援助や技術サポート、販売経路の促進など、もっと支援すべきだ。

A 建設部長 新規営農希望者にはできるだけ、有害鳥獣対策として、公務員ハンターを育成すべき。

への支援をする。公務員ハンターは難しい。

空き家バンクの活用を

Q 全国で54・4%の自治体が空き家バンクを創設している。空き家を地域のサロンなどに活用すべき。転入



イレブンの会
曾我千代子

希望者に空き家の情報提供をせよ。

A 保健福祉部長 社協が「ふれあいサロン」を開設しているが、公共施設で行っている。

住民は不満

Q ①乗り捨て可能なコミュニティサイクルを広げられる町づくりを推進せよ。
②食品トレイの廃止運動を進めよ。

A 建設部長 ①道路整備の中で、自転車道の設置に努めたい。
生活環境部長 ②市民との協働で行いたい。



就農支援で耕作放棄地対策



鳥獣対策の防護柵

どこまでできる鳥獣対策

あらゆる手だてを講じていきたい

Q 近年、旧加茂周辺部において、サル・イノシシ・シカ・アライグマ等が農作物や、社寺・仏像に被害を与えている。収穫期に被害を受け、農業者が耕作意欲をなくしているが、市の対策は。

A 市長 鳥獣被害のため、やむを得ず耕作放棄する農地が増えている。とりわけ加茂地域におけるサルに伴う農作物の被害は、深刻である。あらゆる手だてを講じて、有害鳥獣の対策に向け取り組んでいく必要があると認識している。



伸政会
山本 喜章

建設部理事 具体的な対策は、本来、有害鳥獣捕獲許可については、被害状況を把握した上、随時捕獲許可を交付している。年々増加する被害の未然防止の観点から、報告の前に許可している。地

域住民からの、被害報告や目撃報告を受け、そのつど猟友会と連携をとり対処している。
現在、有害鳥獣の対策は、捕獲による個体数の調整、防護柵による被害防除、バッファゾーンの整備による野生鳥獣との共存を柱において、取り組んでいる。



猿害対策で見とおしをよくした緩衝帯

優先順位の基準を示せ

国の事例を参考に作成した

Q 市道整備基準設置を
予算委員会でも質問
したが、その後は検討さ
れたか。地域内での各要
望事項に関しては、地域
で協議し、優先順位を付
け提出と聞いているが、
基準等を示す必要がある
のでは。

A 建設部長 国土交通
省等の事例を参考に
「市管理道路の舗装修繕基
準」を作成した。
地域長にも知らせる。

地元業者で協会設立を

Q 食材は安全性が求め
られる。納入業者の

工場、会社等の視察を考
えているか。市食品衛生
協会を地元業者で設立し、
食材の提供を求めてはど
うか。

A 教育部長 保健所で
優良と認められた業
者から購入する。

生活環境部長 食材等は
商工会が合併され大きな

梶田 和良

組織で市と対応していく
ことが大事と考える。
府と奈良県で捕獲を

Q サルの被害は以前よ
り深刻な状況で、瓶
原・当尾地域の猿害対策
は県境をまたがる。市は、
府を通じ奈良県と協議す
べき。

A 建設部長 広範囲な
協議と捕獲手段の計
画も考えている。

図書館の書庫も一般開放しては

見ていただくのが基本と考える

Q 図書館の蔵書は、市
の貴重な財産である。
書庫にどうい本があ
るかは現状では知るすべ
がない。書庫も開放すべ
きと考える。スペースと
いう事であれば5月1日
オープンに加茂図書館は、
面積が3倍になり、開架
面積も大幅に増えた。蔵

書すべてを開架しても問
題ないのでは。それとも
開架すべき本とすべきで
ない本があるのか。

A 教育部長 書庫は倉
庫と考えているので
一般開放すべき所ではな
いと考えている。しかし、
一般的には、見ていただ
く、ということが基本と



公明党
織田 廣由

側溝のない市道があるが

Q 要望書の取り扱いは。
側溝のない市道が数
多く見られるが。

A 建設部長 要望個所の
現地確認をし、危険度
や緊急度を勘案し順次整
備を行なっている。側溝
の件も順次整備していく。



広がった加茂図書館

各課連携し検討の上、説明せよ

効率的な汚水処理方法を進める

Q 瓶原を公共下水道にとの請願者の思いは、理解する。が、統一基準で市全域を下水道か浄化槽が見直した府、市の計画は整合性がある。①再見直しは。②事業費は。③排水路の整備費用は。④高度処理・市町村設置型浄化槽の検討を。

A 市長・上下水道部長 ①見直しても瓶原は、

入札改革の姿勢を問う

Q 過去の質問その後の対応を確認する。審査手続きを厳格にせよ。

情報公開度を高めよ

Q 教育委員会の定例会日程をホームページで公表せよ。市の種々の



真弓 真弓

A 建設部長・上下水道部長 緊急修繕の新規受け付けを実施。業者・職員への看板指導を実施。府と同等に厳格にしていく。

会議録をより詳細に。

A 市長・教育長 有効な方法を考える。できる限り公開の姿勢を進める。

フリペイドカード延長を

Q 販売期間を延長せよ。

A 市長公室理事 現時点では考えていない。協議会で議論する。



水環境の整備が急がれる瓶原地域



捕獲されたアライグマ

「平和市長会」へ参加を

今年6月に加入した

Q 核兵器不拡散をめざす国際会議の感想は。

A 市長 戦後65年の節目の年、平和祈念の事業を。平和市長会議へ参加し、市長も市民とともに国民平和行進を。

A 市長 国際会議は、大切な事業。市役所での展示会を期間延長で

行う。

A 6月、平和市長会へ加入した。平和行進は今年もメッセージ参加する。

行政地域制度の検証

Q 行政地域制度は2年目に入った。成果と課題について、市の認識



日本共産党

酒井 弘一

A 市長・総務部長 経費節減、地域支援拡充の効果。地域長の任期に差がある。地域長のアンケートをまとめる。

鳥獣対策の強化を

Q 鳥獣被害の実態把握は進んだか。被害防止計画の策定を急げ。猟友会の会員拡大を。

A 建設部長・理事 被害の集中する地域は5カ所。アライグマは非常に広範囲に生息。防護柵は、府へ例年通りの補助を要望している。

A 1日も早く「防止計画」をつくる。猟友会会員の確保、拡大に努める。



来春開校の同志社国際学院初等部

学研施設等の近況は

同志社国際小の市枠は各学年5人

Q 「同志社国際学院」の地域優先枠についての状況と、市に立地する具体的なメリットは。

A 市長 来年4月開校予定の初等部は、各学年60人の内、各学年5人を市枠として確保すると、報告を受けている。地域優先枠の設定は、

世代を越えた長期的な我がまちの活力の創造に大きく寄与するものと期待している。

Q 閉館した「私のしごと館」の今後の利用と、最近の状況は。

A 市長 施設を売却する一般競争入札が、5月31日に公告された。建築物の用途は、文化学術研究を目的とした利用に限定されており、入札の結果を注視する必要があると考える。



さくら会
吉元 善宏

Q 昨年、三者合意が報じられた、京大農場の最近の状況は。

A 市長 京科大学、高槻市およびURの三者において、木津中央地区京大農場の移転に向けた大枠合意の覚書が締結された。

覚書に示されている23年度末までに、譲渡契約が、円滑に締結するよう協議の推移を見守っている。

「検討する」は期限を明確に

一概に期限を含めた答弁は難しい

Q 期限が明確でない事項は仕事とは言えない。「単なる検討する」の答弁は、曖昧で実行されるのか不信感を持ち緊張感もなくなる。

地方分権が進む中、自治体は自立した地域経営体へ変化が必要だ。選択と集中が求められる、提案

者と執行側の合意形成には、期限の要素としてスピードとタイミングを示す必要が増える。期限の要素を明確化する努力と前進を。時間に対する意識改革を。

①「単なる検討する」との答弁はやめて、期限の要素を含めて最初から答



伸政会
大西 宏

弁せよ。
②以前から提案している「検討する」とした答弁は、6カ月以内に質問者に検討状況を報告せよ。

A 市長 ①「単に検討する」の答弁はしないように統一を図る。で

きそうもないものを検討するとの答弁は、今後絶対避ける。

②「検討する」と答弁した場合、事案別に公表時期や中間報告のタイミングがあるので、6カ月経過時に進行を報告するルール化や、一概に期限の要素を含めた答弁は難しい。



期限の要素を明確に

児童クラブは家庭と同じ

連携を取り体制を整えたい

Q 昨年は2カ所の増設、2カ所の改修があり、大きく改善がされたが、

①ガスコンロなどで壁が焦げて危険な児童クラブもある。また、雨漏りが完全に修理されていない所や、非常口の開かない施設もある。命にかかわることであり、早急に修

理を。

各児童クラブとの連絡を密にすべきでは。

②民間の児童クラブが今年からスタートしたが、今後の進め方は。

A 保健福祉部長 ①それぞれ施設の巡回し、児童クラブの指導員と連携を取りながら、改



伸政会

伊藤 紀味枝

善をしていきたい。

②今後も民間施設に呼びかけ、待機児童解消に向け取り組みたい。

Q 児童虐待が深刻な社会問題となっている。

児童虐待が深刻な社会問題となっている。

①「児童虐待の早期発見と適切な対応のためのチェックリスト」を作成し、保育園や各学校などに配布し、病院や各機関同士が顔の見える連携をし、地域一体の取り組みを。

②21年度の通告は何件か。

A 保健福祉部長 ①チェックリストは作成したが、意見があった一部を修正し、配布する。

②39件であった。



入所者が増えて増築した児童クラブ



殺処分ゼロに向けて適正飼育を

残業ゼロの市庁を目指しては

なくすのは難しいが削減に努める

Q 残業の現状と将来ゼロにしては。

A 市長公室長 20年度6万3340時間、21年度5万1077時間と減少傾向にある。職員は類似団体と比較し、1割減の人数で、事務処理の高度化により残業ゼロは難しく、削減に努める。

Q 安心カードの交付を

A 救急時の情報提供に役立つひとり暮らしの高齢者世帯に、安心カードを作成しては。

A 市長 ひとり暮らし高齢者は約2千世帯。カード記載内容は、緊急時の連絡先、かかりつけ



公明党

島野 均

Q 犬猫殺処分ゼロに

①全国で年間28万匹、市では約150匹が殺処分され、人と動物が共生できる社会のためゼロにしては。

②猫の去勢、避妊手術の補助制度を。

A 生活環境部長 ①飼い主の責任が第一義で今後広報などで抑制に努める。

②効果的な施策であるが、財政状況より補助金創設は難しい。

医、病名や常備薬等であり、冷蔵庫に設置するもの。木津地域では、あんしんSOSカードを交付しており、今後その他の地域に交付できるよう検討する。



施設稼働30年が経過した打越台環境センター

打越台環境センターの今後の方向

改修は多面的に検討する

Q 「精密機能検査」の結果に基づき大規模改修が迫っている。改修に当たり、ごみ処理の今後の方向について質問する。

- ① 大規模改修計画の概要。
- ② 大規模改修、外部委託施設補修と外部委託の併用の事業仕分けは。
- ③ ごみ処理の広域化、広

域連携に向け、府に要望指導を求めているどうか。

A 生活環境部長 ① 改良項目、財源等の課題を現在精査中である。

- ② 効率的な事業運用に向け、議員のご指摘を含め多面的に検討する。
- ③ 人口減少、ごみ減量化が進む中、府に広域化の

方向を強く要望したい。

人材育成と環境整備は

Q 合併後3年余りが過ぎ、新庁舎も完成した。しかし、職員の相互扶助、団結の精神が希薄になっている。一方、新庁



伸政会 西岡 政治

舎の福利厚生施設は不足している。そこで、
① 職員の人材育成対策は。
② 職員の福利厚生施設の現状と確保は。

A 市長公室長 ① 人材育成支援制度を活用し、職員の能力向上、育成に努める。
② 市役所全体の使用状況を再確認し、組合と相談し、施設の確保に努める。

行政地域制度を振り返って

330万円の費用効果

Q 新制度に替わり95の区が33ブロックに減った。財政効果は。

A 総務部長 平成23年度には330万円の経費削減ができる。

Q 街路灯の電気代は、4300万円全額市の負担。将来の市の財政

窮迫を考え、一部を区にお願いしては。

A 総務部長 明かりは市全体にあまねく降り注ぐので、市の負担。

Q 南加茂台の道路は築約27年。老朽化して安全上修復が必要だ。

A 建設部長 幹線道路の低騒音工事をした。バス道路はよく傷むので、計画的に修理している。マンホールの音鳴りは応急処置をしている。



伸政会 深山 國男

トレーニングセンターを

Q 障がい者や高齢者の病気予防のため、近隣自治体は運動トレーニングセンターを開設している。

A 市長 レッツウォーキング事業などを進め、健康増進計画も作って市民の健康で長生きを目指す。



計画的に進む市道の舗装更新

瓶原での住民説明会の状況は

次回開催の強い要望があった

Q 説明会の内容は不十分で、押しつけた。住民の意向、地形・地域性、旧加茂町の流れ等勘案し構想案を作り直せ。

瓶原を公共下水道にした場合の総事業費の内訳等資料を提示し、住民説明会に臨め。

A 市長 将来の負担を子ども、孫に残さないように、今の問題をどのように解決するか真剣に考えている。

予防接種に公費助成を

子宮がん検診の受診率は21年度34・5%

と向上した。女子中学生に子宮頸がんワクチンを接種することでがん予防ができる。4437万円が安心して生活ができる。補正予算を組んでは。

ヒブワクチンの接種で乳幼児の髄膜炎を予防できる。一部助成や公費での定期接種を取り入れては。



伸政会
炭本 範子

A 保健福祉部長 公費助成の予定はない。国・府の動向を見る。

仕事と生活の調和を

Q 職員502人のワークライフバランスは取れているか。女性の仕事と家庭の両立は大変だ。

A 市長公室長 男性職員が育児休業等を取ることができる雇用環境づくりが必要だ。

瓶原に合併浄化槽PFI事業は
今後事業の調査研究を行う

Q 瓶原地域を公共下水道の整備計画区域に入れた場合、恭仁京跡への影響はないのか。地域の生活排水環境の早急な改善や実現性の面から、市設置型合併処理浄化槽のPFI事業方式の導入はできないものか。

A 教育部長 公共下水道整備計画は、文化財指定との関係はない。市長 市設置型のPFI事業方式については今後、研究を進めたい。

JR各線の複線化は

Q 市内JR各路線の複線化に向けた動きと実現の可能性は。

A 市長公室長 市内いづれの路線も全線複線化は実現していない。府の補正予算で奈良線の複線化に向けた調査費1



イレブンの会
木村 浩三

000万円が計上されたことから、奈良線が複線化に向け期待。今後も沿線市町村と利用促進の活動に力を入れ、複線化事業の早期実現に向け取り組んでいきたい。

山城支所の今後の計画は

Q 山城支所整備の今後

A 市長 今年度、実施設計等完了次第、建築費を予算化し、建築工事の着工を予定。



今年度中に改築工事に着手する山城支所



下水道整備の要望のある瓶原地域



公社で先行取得した道路用地

不要な土地の売却で、財源確保を

転用・売却・貸付など検討する

Q 合併直後の平成19年12月議会で、市や学

研都市京都土地開発公社などが保有する未利用地や遊休地の見直しを進め、目的外への転用や、売却も含めた早い検討をすべきと提案した。

それから2年半、普通財産も含めた市有地の草

刈りなどの費用が、約2200万円、土地開発公社への金利や事務費が、約2000万円、合計で4000万円強である。

また、未利用地を、民間の保育園誘致に利用し、待機児童の解消の一手として考えてはどうか。

もっと早い対応で、不



さくら会

倉 克伊

要な土地の見直しを急げ。

A 市長 管理経費の削減と、財産の有効活用による新たな財源確保のため、市有財産利活用検討委員会を立ち上げ、処分も含めた検討を進め

ているが、今後は、早く確実な対応を進めたい。
総務部長 保有状況を確認し、転用・売却などの検討を進めている。処分方法として、宅建業者やインターネット販売も取り入れる。

毎年の関連経費支出は好ましくなく、必要な措置を講じたい。

予想不可の児童増に自校給食必要

三給食センターで対応する

Q 民間委託の加茂学校給食センターには見

学場所がない。モニターカメラ・外窓からの視察可能な足場の設置を行い、安全のための透明性と緊張感の確保をすべきではないか。

南地区の児童急増は調理食数を超える。中央地区のまち開きで児童生徒は予測不可能。自校給食

を残す必要がある。

A 教育長 DVD作成や試食会で理解をいただく。給食食数は一定推測しながら三給食センターで対応する。

子宮頸がん等の助成を

Q 女性市長として、子ども医療費通院の無料化拡大・ヒブワクチン

への助成・唯一予防可能な子宮頸がんワクチンへの助成を行い、命を守る施策を。

A 市長・保健福祉部長 子ども医療費は市単

独は難しい。府の動向を見たい。子宮頸がんワクチンは、府の専門委員会



日本共産党

村城 恵子

立ち上げに参加し、府と共に実施の方向で検討したい。

残せコミュニティバス

Q 10人の乗車目標が達成できなければ廃止

か。
A 市長公室理事 廃止

前提でないが利用者状況の見極めが必要。デマンドタクシーも含めて議論していく。



加茂学校給食センター

木津川市の活性化対策に思う事は

誠実な心の通った市政を実行する



さくら会
阪本 明治

Q 街に希望の扉を開け、新しい命の息吹を吹き込むには、心を一に皆で、街に愛着を抱く事で、市長は今迄…、どんな事に配慮してきたか。

A 市長 子ども達が夢を抱き、成長できるまちづくりの実現。過去の負担を負わせない。大人も生かすまちづくりに関われる仕組みが大切。

Q 伝統や文化を生き返らせ新規に作り出す地域力を生かす考えはないのか。

A 生活環境部長 先人が守り育てた伝統や文化は、先人の真心と知恵、また、新住民共に、新たな文化の創造も、次世代への宝、私達の責任。子ども達の登下校の見守りでの毎日の会話交流も、

地域おこしの原動力。地域の特性に応じ、市民と行政協働で進めるまち美化運動やアダプト・プログラムは愛着心を育てる。

Q 八木邸を市の歴史遺産として、生かせるのか。

A 生活環境部長 市内での演奏活動は話題に

なり、地域活性化に繋がる。活動には、支援・協力をしていきたい。

Q 市内歴史探訪のガイドを長年「ふるさと案内かも」が、地域の力で活動中、コースで危険な所、環境整備等、手に負えない所があるが、どうする。

A 生活環境部長 市の観光協会に委託中、「ふるさと案内かも」と、協議し、適切な対応策を考える。



観光協会ロビーで大仏鉄道の紙芝居

これからの木津川市は

企業の立地促進を推進していく

Q ① 転入転出者数は。誕生、死亡者数は。

- ② 転入者は近隣地域か。
- ③ 転出者の行き先は。
- ④ 転入転出者の年齢は。
- ⑤ 世帯数は同じで人口減少地域がある。なぜか。
- ⑥ 若者の市外への流れを食い止めるには。

A 生活環境部長 平成22年6月7万人達成。①

- ④ 月平均転入者約270人、転出者約210人。
- 昨年月平均出生者数60人、死亡者数約40人。転入転出は奈良県や京都府内、大阪府など、どちらも30歳代から40歳代。



さくら会
尾崎 輝雄

Q (仮称) 学研中学校は開校時の生徒数は。校区は。通学方法は。

A 教育部長 約300人。梅美台・州見台小学校区。原則徒歩。

コンビニ納付制度が開始

Q ① 4月からコンビニでの納付制度が始まったが、成果と納付率は。② 国民健康保険料の納付はいつからか。③ コンビニに支払う手数料はいくらか。

A 総務部長 ① 予想以上で納付率63・4%。② 実施に向け、現在検討中。③ 地銀ネットワークに委託。市は1件当たり60円支払う。



工事の進む (仮称) 学研中学校 (州見台)



清掃センター建設予定地

清掃センター候補地の交渉は

1年でレールを敷く覚悟でやる

Q 建設審議会の答申があり、2月に候補地が決定されたが、地元地域との交渉状況は。

A **市長** 市民の生活環境を守り、安心安全な日常生活を確保するため実現しなければならぬ重要かつ緊急課題であり、関係部局が情報を共有し、機能の強化を図り

全力で解決する。
副市長 地元や周辺地域住民の理解と協力が肝要であり、誠心誠意対応していく。

Q 市としての意気込みは。

A **副市長** 候補地決定により具体的に目標が定まり、一層気を引き



イレブンの会
中谷 裕亮

締めてやる。また、打越台環境センターの状況を考えると待ったなしといえるので、必ず実現する必要がある。後へ戻れない。

失敗をするなどの市長の命を受けてやっているの、しばらく待ってほしい。

Q 今後のスケジュールは稼働開始まで8年から10年と聞いているが、打越台センター大規模改修が必要であり、その兼ね合いは。

A **副市長** 打越台センター大規模改修との兼ね合いも考慮し、二重投資にならないよう十分考えてスケジュールを組み、早く実現したい。

職場における喫煙対策は

屋内禁煙を基本とする

Q ①本庁での喫煙に対し、適切な喫煙室を設置すべきだ。②立ちタバコは外見的に見苦しい。今後設置する考えは。③室内またはこれに準じる環境において、他人のタバコの煙を吸わされることを受動喫煙というが、防止になるか。④公共施

設での喫煙対策は。⑤市長は、庁舎全般における喫煙に対し、どのような感想をお持ちか。

A **市長公室長** ①喫煙室の設置は、スペースがなく現状では無理。

②設置する考えはない。③屋内に入らないよう配慮している。④原則、館



伸政会
七条 孝之

内禁煙を基本とし、受動喫煙の防止に努めている。幼稚園・保育園は全面禁煙で対応。

市長 ⑤喫煙室設置は今の庁舎の規模では難しい。屋外での喫煙で理解してほしい。

文化財分室の開所で

Q ①恭仁宮までのアクセス案内板等が不足では。②展示物の情報発信は。③市の文化財の拠点として、まとめていく考えは。

A **教育部長** ①観光商工課と一緒に

検討する。②ホームページ・広報・新聞による掲載で発信する。③木津・山城地域で出土した遺物も展示していく。



5月に開所した文化財整理保管センター分室

わたしの意見

このコーナーへの投稿をお待ちしています。



中森 啓之さん
(兜台)

私の提案「道の駅」

私は、農業・産業・観光などの振興に寄与する第三セクターの「道の駅」を提案します。地元の農産物や加工品等の販売・市の自然・歴史・観光・文化・産業・研究所の先端技術等の

紹介施設やレストランも設けます。バス路線があり二つの国道、京奈和道からアクセスできる中央体育館付近が適地と思います。

子どもから大人まで楽しめる、学べ交流できる施設にしてほしいです。市が強力なイニシアティブをとり農協・商工会・観光協会・研究所・関係地区・一般市民・学識経験者等を含め検討チームを発足させてはいかがでしょうか。



静川 平啓さん
(山城町上狛)

“おいしい”のことが励み

私は、ブドウと野菜をつくる専業農家です。ブドウは、全て直売しています。朝、木で完熟したものを収穫し、お客さんの

目の前で箱詰めして、安心して買ってもらっています。デラ以外に瀬戸ジャイアント、シャインマスカット、こんな新品種にも挑戦中で現在9種類になります。困りものは、ムクドリとスズメ。今の心配は7月の長雨による裂果です。お天気相手で苦労が多く、手間も大変ですが、収穫時の見事なブドウの色とお客さんの“おいしい”のひとことが励みです。

お知らせ

9月定例会は9月2日(木)からはじまります。



森下 譲二さん
(加茂町西)

瓶原住民は公共下水道を求めていきます

旧加茂町瓶原地域では家庭雑排水が農地に流れ込んだり、浸水しやすいなどの問題があり、住民は3町合併以前から、下水道整備を

要望している。市が旧3町から引継いだ事業計画では、下水道区域となっている。しかし、昨年12月に市議会に示された木津川市汚水処理施設整備基本構想(案)では、住民意向を無視して瓶原地域は公共下水道区域から浄化槽区域に変更されている。浄化槽処理では農業用水の水質悪化の懸念があること、浸水、排水対策を考慮していないことなどから公共下水道を瓶原住民は求めています。

編集後記

夏本番。復活した七夕まつりと一緒にお届けする議会だより13号です。

6月議会は、議案が少なかったため、ページもいつもより少ないです。写真撮影や原稿作成、割り付け、レイアウト、そして校正といったも同じ作業を委員全員で確認しながら進め、今回も無事、皆さんにお届けできました。

ご家族皆さんで議会だよりを囲んでいただければ、さらに嬉しいです。ご意見お待ちしております。 呉羽真弓

広報編集委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 伊藤 紀味枝 |
| 副委員長 | 出栗 伸幸 |
| 委員 | 酒井 弘一 |
| 〃 | 高味 孝之 |
| 〃 | 呉羽 真弓 |
| 〃 | 宮嶋 良造 |
| 〃 | 阪本 明治 |
| 〃 | 島野 均 |
| 〃 | 村城 恵子 |